

2023 年度の事業報告書

2022 年 9 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 KANAERU

1 事業の成果

- 人材や IT に困っている飲食業や宿泊業を中心とした企業に対してコンサルタントや、WEB システム制作の施行を行った。
- 児童養護施設出身者の職業選択の範囲拡大や雇用の促進、障がいのある子どもたちの職業訓練や、雇用の斡旋を行った。
- 「スマート SME サポーター」として中小企業デジタル応援隊の活動に邁進した

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施予定日時 (B) 当該事業の 実施予定場所 (C) 従事者の 予定人数	(D) 受益対象 者の範囲 (E) 予定人数	事業費の金額 (単位：千 円)
②企業等と連 携した IT (情報技術) システ ムの普及啓 発	・児童養護施設出身者の雇用、職業訓練に関する、コンテンツサイトを拡充し、労働力が欲しい企業と、個人をつなぐ事業を行う ・SME サポーターとして企業の DX 化を雇用につなげる ・中小企業デジタル応援隊の活動	(A) 年間を通して、 企業、人材の雇用促進のサポートをする。 (B) 関西 (C) 2 名	(D) 関西の児童養護施設出身者。 また障がい者 (E) 3 名 10 社	2,000 千円
①農産物・加工品の生産販売又は宿泊業に係る雇用斡旋及び労働者派遣	・アフターコロナになり宿泊業が活気づいているため慢性的な人材不足に陥っているため、就職困難者を社員として紹介し、また障がいのある人材は当社で雇用し各施設などに派遣する。	(A) 年間を通して、 雇用斡旋をする。 (B) 全国 (C) 2 名	(D) 全国の就職困難者 (E) 10 名	
③企業等への人材紹介及び労働者派遣及び経営・広報支援に係る各種コンサルティング業務	・宿泊業に関わらず、飲食業、IT 事業、一般商社などへ就職困難者を紹介する。 ・また、この事業で得た経費を除いた利益は福祉施設に寄付をする。	(A) 年間を通して、 雇用斡旋をする。 (B) 全国 (C) 2 名	(D) 全国の就職困難者 (E) 30 名	2,000 千円

④福祉施設等への寄付活動	・ 京都府内 3 件の放課後デイサービス。京都府内 2 件の児童養護施設。関西圏 3 件の福祉施設に寄付活動	(A)年間を通して、寄付をする。 (B) 関西圏 (C) 2 名	(D) 関西圏の児童 (E) 100 名	2,000 千円
⑤その他この法人の目的を達成するために必要な事業	・ 特になし			

(2) その他の事業

企業等への人材紹介及び経営・広報支援に係る各種コンサルティング業務
有料職業紹介事業

(備考)

- 1 2 は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 2 2 (2)には、定款上「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載する。